

大木和音チェンバロリサイタル

Vol.23 Fragrances 香り立つ南欧の風

Kazune Oki Cembalo Recital



【使用楽器】
クリスチャン・クロール1770年(リヨン)
Olivier Fadini 制作 (パリ)

【プログラム】

月の光 (C.ドビュッシー)
大殿様たち/若殿様たち/がらくた etc.. 第24オールドより (F.クーブラン)
禁じられた遊び(スペイン民謡)
組曲 第5番より ラモー/ボワソン/シルヴァ/ジュピター (フォルクレ)
火祭りの踊り (M.deファリヤ)
ロンド ハ長調/ミレットティーナ (J.デュフリ)
ガヴォットと6つのドゥーブル (J-Ph.ラモー) その他

2026年 9/6 (日)

高崎芸術劇場 音楽ホール

開演15:00 (開場14:30)

全席自由 前売り3,300円 当日3,500円



【プレイガイド】

- 高崎芸術劇場チケットセンター ●群馬音楽センター ●高崎市文化会館 ●高崎シティギャラリー
- 箕郷文化会館 ●榛名文化会館 ●新町文化ホール ●吉井文化会館
- 高崎市倉渕支所(地域振興課) ●高崎市群馬支所(地域振興課) ●煥乎堂前橋本店

【Web販売】

- チケットぴあ (Pコード: 325993)

【後援】 高崎市 朝日新聞前橋総局 群馬よみうり 上毛新聞社 毎日新聞前橋支局
FM GUNMA 群馬テレビ ラジオ高崎 高崎観光協会

【お問い合わせ】 (有) アルト・ノイ・アーティストサービス

TEL 04-2965-1943 FAX 04-2003-1251 e-mail: info@alt-neu.info URL: www.alt-neu.info

【プロフィール】

東京藝術大学チェンバロ科、同大学院修士課程修了。オランダ・ユトレヒト音楽院に留学、ソリスト・ディプロマを得て卒業。藝大「安宅賞」、第38回ブルージュ国際古楽コンクール・ディプロマ賞、第20回上毛芸術文化賞受賞。バロック音楽の再現だけでなく、コンテポラリー音楽においてもアクティブに表現する。楽器の特性を感覚的に熟知し、音楽の呼吸と楽器の呼吸とを絶妙にコントロールしながら、自分の音楽を構築していく数少ないアーティスト。チェンバロで初のDSD11.2MHz完全無編集マルチ録音によるフランスのバロック作品集『三美神』のレコーディングを成功させ、レコード芸術誌に演奏及び録音のクオリティの高さで絶賛される。

足鍵盤を有する数少ないチェンバロ(クリスチャン・クロール 1770年製レプリカ)を用いて表現する彼女の音楽は、チェンバロが現代まで表現できなかった多くの音楽表現を可能にし、ドビュッシー、アルベニス、グラナドス、モンポウまでも見事に描き出した。2017年に発表された『Latina/内なる印象』(ラテン名曲集)は、スペイン音楽評論家・故 濱田滋郎氏から絶賛される。また国内のみならず、ヨーロッパの著名アーティストからの高い評価も受け、話題を呼んでいる。

2021年『J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲』、22年にはCDデビュー15周年記念二枚組アルバム『フランスの花』をリリース。

世のチェンバロに対する概念を覆す、溢れ出す表現力。色彩豊か且つ壮大な音楽性は、チェンバロの新たな可能性とバロック音楽の優美さを、現代に浮き彫りにした。

(ana/records 狩野真)

Discography



『Latina / 内なる印象』ラテン名曲集

DSD5.6MHz マルチ録音

(レコード芸術・特選盤)

ana/records ¥3,000 (税込)



『三美神』フランスバロック・クラヴサン曲集

ラモー・ロワイエ・デュフリ

DSD11.2MHz 完全無編集盤

(レコード芸術・優秀録音&準特選盤)

ana/records ¥3,000 (税込)



J.S. Bach Goldberg Variations

『J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲』

ana/records ¥3,000 (税込)

ワンポイントマイク録音の巨匠

タッド・ガーフィングルによる録音。

立体的に発せられた澄み切った音色が空中で織りなす見事なハーモニー。

大木和音ならではのゴージャスかつ洗練された演奏。



ana
/records

フランスバロック名曲集 2枚組CD『フランスの花』

2022年12月ana/recordsから発売!! ¥3,500(税別)

Louis Couperin (ca.1626~1661) 組曲へ長調、八長調

François Couperin (1668~1733) 第7オールド、第23オールド

Jean-Philippe Rameau (1683~1764) クラヴサン曲集、新クラヴサン曲集より

(メッセージ)

今回は、フランスからスペインといった、ラテン音楽の祭典です。同じヨーロッパ音楽でも、チェンバロ音楽というと、まずはバッハを思い浮かべる方が多いと思いますが、実はラテン・バロック音楽は、ドイツより歴史が古く、神秘的なタイトルを持つ魅力的な曲が沢山あります。ヨーロッパと一言で言っても沢山の国があり、色々な文化の違い、表現の多彩さに驚かされます。音楽はもちろん、踊り、料理、建築、街に流れる風や香り、言葉の響きなど、挙げていたらきりがありません。フランスで制作された私の愛器クリスチャン・クロールも、伝統的な音色や響きを有しており、クーブランやラモーの曲を弾くと、18世紀のヴェルサイユ宮殿の空間に私を誘ってくれます。フォルクレの「組曲第5番」では、フレンチ・チェンバロの渦を巻くような低音の迫力をも、堪能していただけることも楽しみです。

またラテン音楽には、古典から現代音楽に至るまで、一貫して流れる撥弦楽器的な音楽性(ギター、リュート)の魅力があり、その伝統を現代に、同じ撥弦楽器であるチェンバロで演奏することは、伝統を重んじながらも異なる方向から芸術作品に光を当てる興味深い試みだと思っています。近現代スペインの曲では、足鍵盤も使用し、新たなチェンバロ世界を楽しんでいただけます。

恒例の高崎リサイタル、今年はラテン音楽で、南欧の香りに包まれて、素敵な時間を皆さまと共有させていただけたら嬉しいです。

大木 和音



高崎芸術劇場 群馬県高崎市栄町9-1 TEL 027-321-7300

JR高崎駅東口から徒歩5分

◎専用駐車場及び提携駐車場はありません。

周辺駐車場については高崎芸術劇場 HPをご覧ください。

◎未就学児のご入場はご遠慮願います。